



## 株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンス

2025 年 8 月期決算説明会

2025 年 10 月 29 日

## イベント概要

---

[企業名]	株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンス		
[企業 ID]	2927		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2025 年 8 月期決算説明会		
[決算期]	2025 年度 通期		
[日程]	2025 年 10 月 29 日		
[ページ数]	41		
[時間]	15:30 – 16:28 (合計 : 58 分、登壇 : 41 分、質疑応答 : 17 分)		
[開催場所]	103-0026 東京都中央区日本橋兜町 3-3 兜町平和ビル 3 階 第 3 セミナールーム (日本証券アナリスト協会主催)		
[会場面積]	145 m <sup>2</sup>		
[出席人数]	27 名		
[登壇者]	4 名		
	代表取締役会長	浅山 雄彦	(以下、浅山)
	取締役会長室長	南方 茂穂	(以下、南方)

---

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



株式会社さいか屋 代表取締役社長  
株式会社さいか屋 常務取締役

山野井 輝夫（以下、山野井）  
中野 宏治（以下、中野）

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス [support@scriptsasia.com](mailto:support@scriptsasia.com)



## 登壇

---

**司会：**お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただいまより、株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンス様の 2025 年 8 月期の決算説明会を開催いたします。

初めに、会社からお迎えしている 4 名様をご紹介します。まず、株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンスの代表取締役会長、浅山雄彦様。

**浅山：**浅山です。よろしくお願いいたします。

**司会：**同社取締役会長室長の南方茂穂様。

**南方：**南方です。よろしくお願いいたします。

**司会：**株式会社さいか屋、代表取締役社長の山野井輝夫様。

**山野井：**山野井です。よろしくお願いいたします。

**司会：**同社常務取締役、中野宏治様。

**中野：**中野です。よろしくお願いいたします。

**司会：**どうもありがとうございました。本日のご説明は、浅山様、山野井様よりと伺っております。ご説明の後、質疑応答の時間を設けていただきます。

それでは、早速よろしくお願いいたします。

**浅山：**浅山です。本日はよろしくお願いいたします。

本日は株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンスと、一部、株式会社さいか屋合同でご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは早速、決算の発表に移らせていただきます。

---

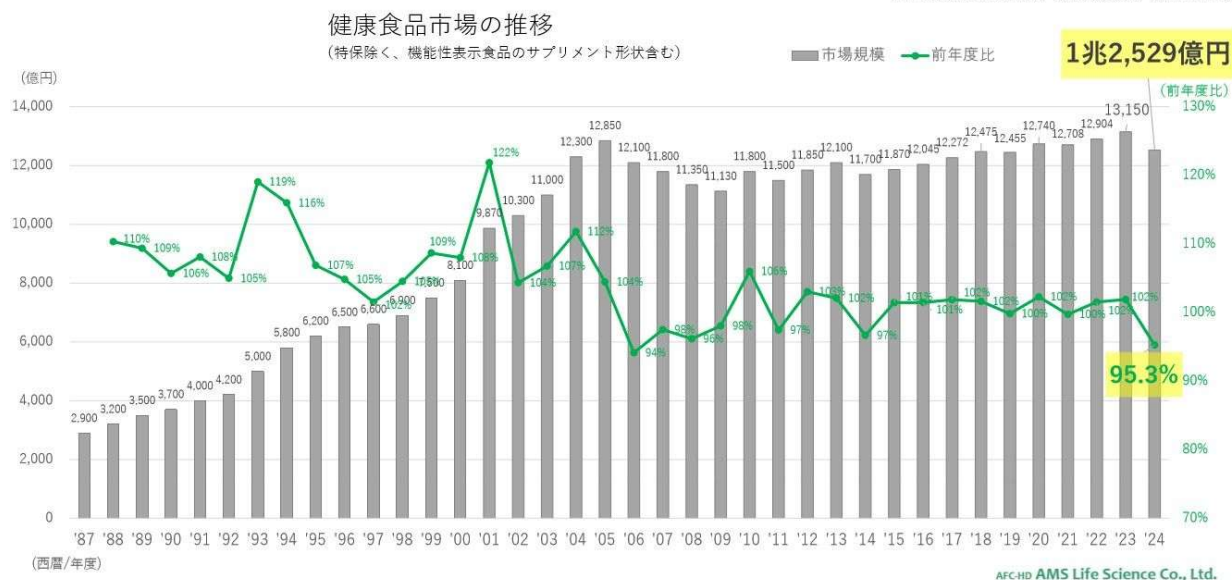
### サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 【市場環境】健康食品市場の推移

【出所：2018.12.21、2024.12.20 健康産業速報掲載】を基に当社で作成

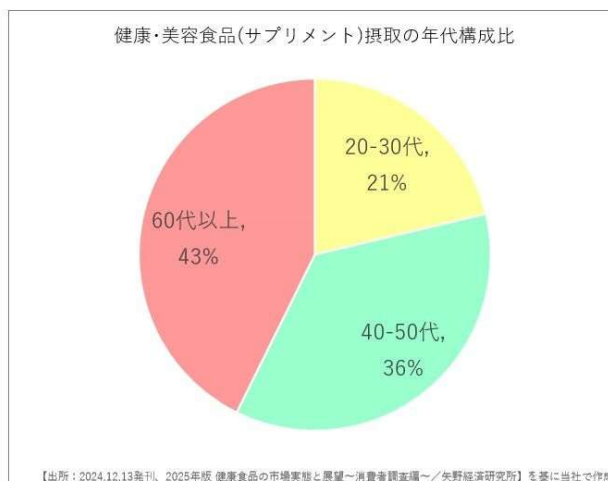
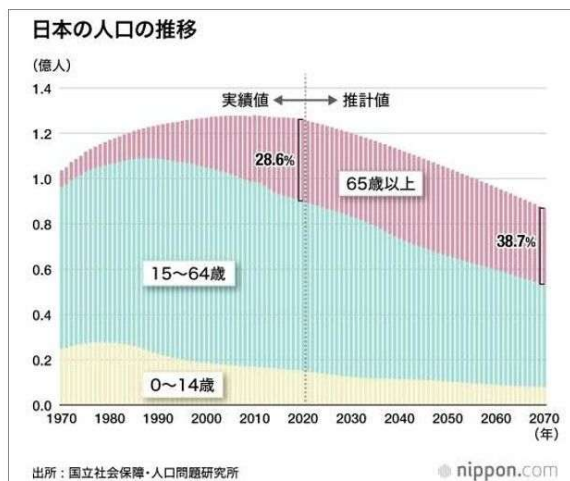


まず、当社の本業は、ヘルスケア事業という主に健康食品に係る事業が本流の事業です。そちらの市場環境ですが、ここ数年は微増しながら市場状況は非常に良かったのですが、2024年3月に、小林製薬様の紅麹の問題が一部市場で非常に、あまり良くないニュースとして騒がれたこともあり、前年比5%ぐらい落としているような環境の中で、今期頑張ってきました。

### サポート

日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com

## 【市場環境】日本の人口の推移／サプリメント摂取の年代構成比



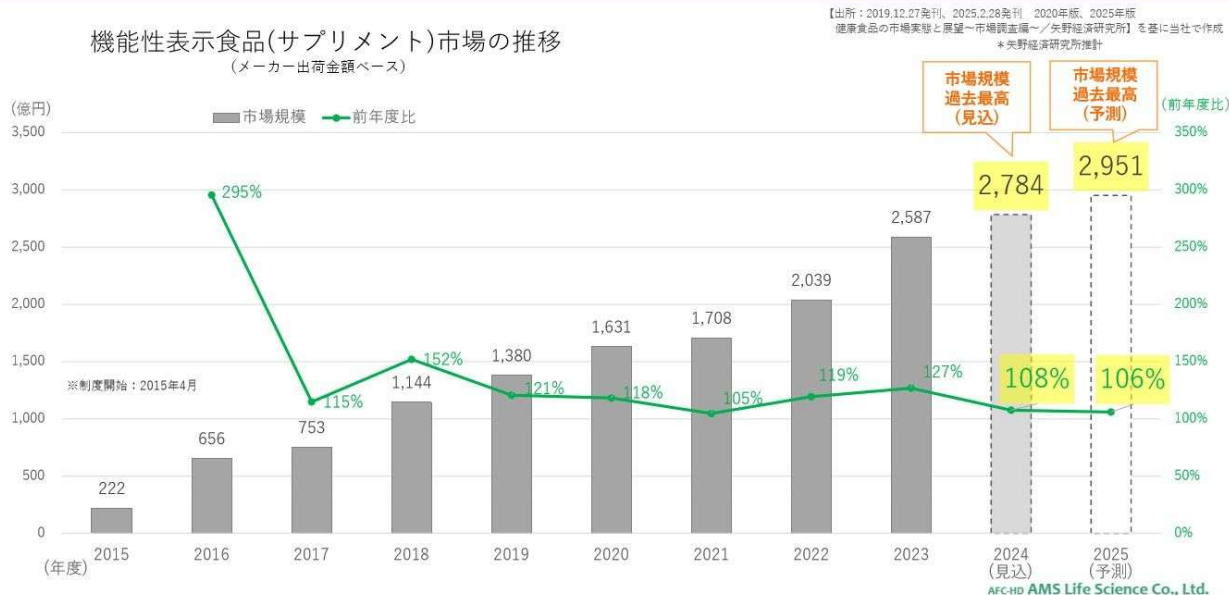
日本の人口が少子高齢化で減っていく中で、当社を取り巻く市場はどうなっていくのかについてです。

65歳以上が増えていくと、2030年問題や、いろいろなニュースで出ていますように、サプリメントを摂取する年代のメインが60代以上で43%ということで、国内市場もこちらの人口が、向こう10年、20年と、国としてはあまり良くないことと思いますが、市場としては国内市場もまだまだこれからの業界だと思われます。ただし、人口が減っていく中で、若い世代がこの後10年20年たった時に国内市場が減っていくことが予想されますので、減少分を海外に今から積極的に出ていくという考え方で取り組みをさせていただいております。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 【市場環境】健康食品：機能性表示食品(サプリメント)市場の推移



問題になりました紅麹問題も、足元は少し落ち着いています。この市場自体は、もっと影響が出ているかと思いましたが、実際は伸び率が少し鈍化し、2桁から1桁になりました。確かに減ってはいますが、機能性食品の市場自体は伸びていて、こちらが過去最高だったということが驚きでした。

こちらは健康産業速報という業界資料ですが、健康食品市場が5%減となってる中で、業界売上の40%近くが、今は健康食品の通販をされている会社さん、これはインターネットでもそうですが、こちらは少し落ちているということでした。機能性表示食品以外の健康食品もかなり多いですが、この問題に引きずられて、定期購入をやめようと、そういうお客様がいたそうです。全体としてはちょっと下がっていますが、この機能性表示食品というのは、今後も少しずつ伸びていく市場ではと考えております。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## サマリ AFC-HDグループ【連結】

- ・ 主要事業であるヘルスケア事業及び医薬品事業は、引き続き好調
- ・ 不動産・建託事業も好調

	2021 実績	2022 実績	2023 実績	2024 実績	2025 実績	(百万円)		(百万円)	
						増減額	前期比	2025 当初業績予想 (2024/10/15公表)	達成率
売上高	22,368	23,024	過去3番目 25,579	過去2番目 30,185	過去最高 32,655	+2,469	108%	31,100	105%
営業利益 A (営業利益率)	過去2番目 2,245 (10%)	1,015 (4%)	1,636 (6%)	過去3番目 1,916 (6%)	過去最高 2,409 (7%)	+493 (+1%)	126% -	2,200 (7%)	110% -
経常利益 (経常利益率)	過去2番目 2,161 (10%)	1,343 (6%)	1,654 (6%)	過去3番目 1,921 (6%)	過去最高 2,443 (7%)	+522 (+1%)	127% -	2,200 (7%)	111% -
親会社株主に帰属する 当期純利益 (親会社株主に帰属する 当期純利益率)	過去最高 1,495 (7%)	735 (3%)	1,102 (4%)	過去3番目 1,252 (4%)	過去2番目 1,448 (4%)	+196 (+0%)	116% -	1,320 (4%)	110% -
減価償却費 B	611	853	823	862	1,089	+227	126%		
EBITDA (A+B)	2,856	1,868	2,460	2,778	3,499	+720	126%		

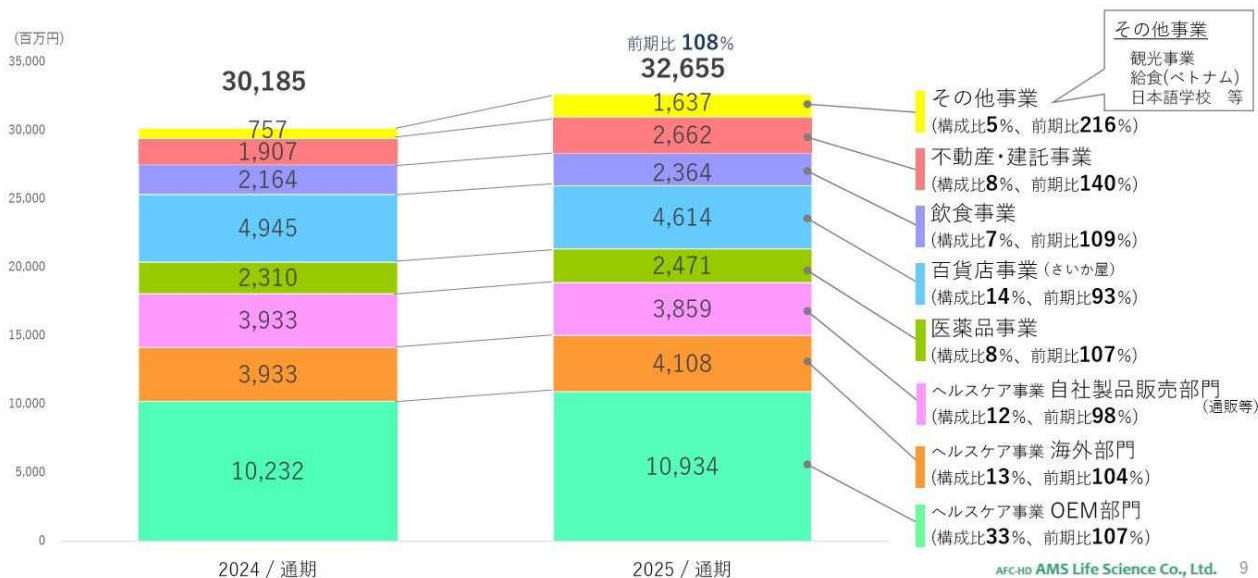
AFC-HD AMS Life Science Co., Ltd. 8

通期、おかげさまで過去最高の売上を上げることができました。連結で326億5,500万円の達成率105%、営業利益24億の達成率110%、経常利益24億4,000万の達成率111%、当期純利益14億4,800万の110%、減価償却費10億、EBITDAにつきましては34億9,900万、増減としてプラス7億2,000万、前期比として126%で終わることができました。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 事業別売上高【連結】



当社はグループ企業で事業も多角化しており、その内訳になります。

下三つ、ヘルスケア事業につきましては、下から本業の OEM 事業、ヘルスケアの海外、自社通販で、こちらは先ほどちょっと触れました通販がメインの事業のため多少苦戦しています。前期比として 98%です。名古屋にあります本草製薬の医薬品事業が前期比 107%です。

百貨店事業は、一部テナントさんの賃料に変わっていることもあり、売上はマイナスになっておりますが、利益率は大幅に改善しております。飲食事業は、前期比として 109%です。新たな事業として、不動産・建託事業が 140%です。その他いろいろ、観光、給食、日本語学校等がありますが、こちらは前期比 216%でした。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 売上の対前期比 増減分析【連結】



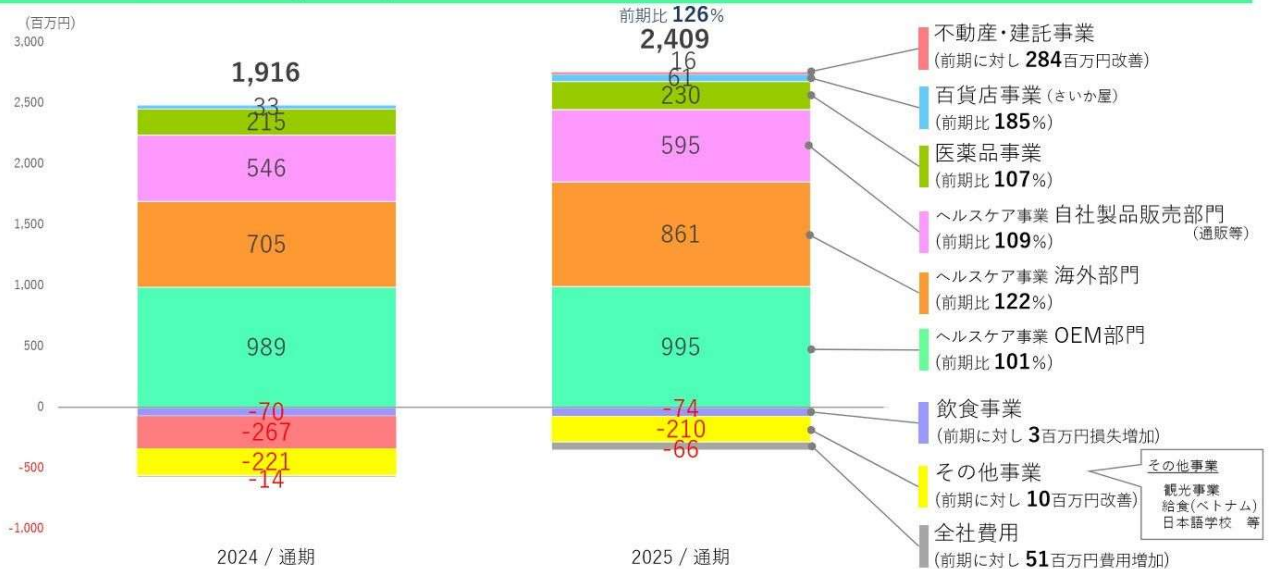
こちらは各事業が前期と比べて増えたのか減ったのかという資料です。

OEM はプラス、海外もプラス。自社製品、これは通販で若干マイナス。医薬品もプラス。百貨店は、後ほど詳しく説明しますが、売上についてはマイナス。飲食は、売上は前年より増えています。不動産・建託は大幅に伸ばしたということで、売上は増減額として24億6,900万ということで増収になっております。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 事業別営業利益【連結】



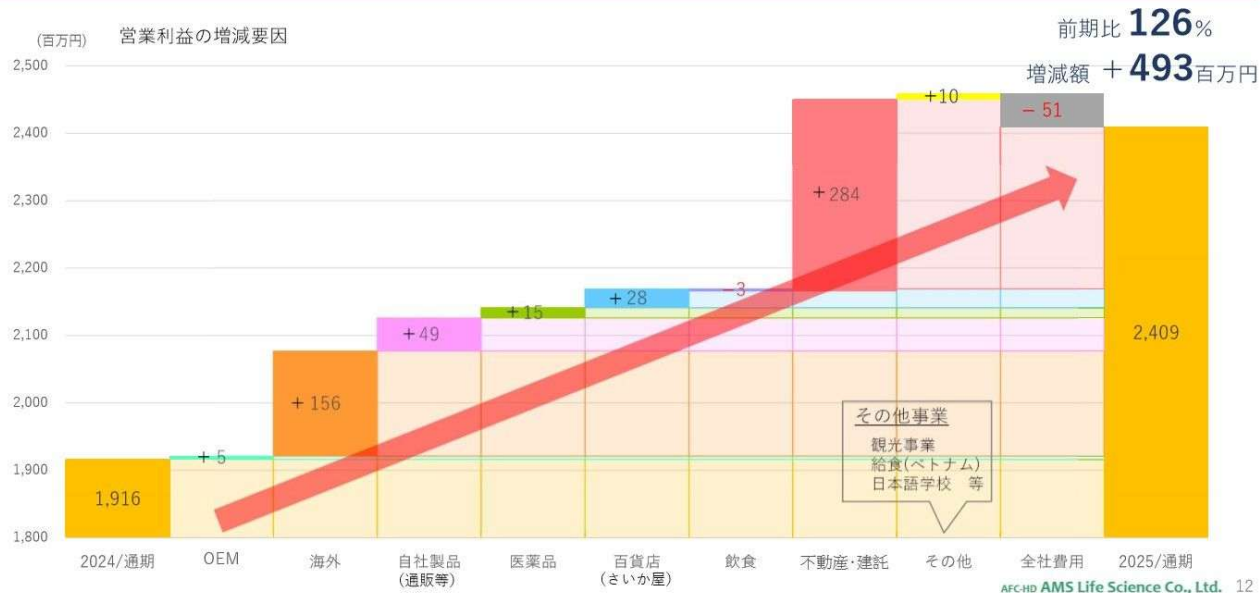
(ご参考) 2025年におけるのれん代: 百貨店事業91百万円、飲食事業83百万円、不動産・建託事業56百万円、その他事業59百万円

利益ですが、事業別でメインのヘルスケア事業につきましては、アムスの OEM 事業が前期比 101%。ヘルスケアの海外、こちらは大幅に伸びておりまして、利益も 122%。自社製品の販売は、利益については非常に改善して前期より 109%。医薬品事業も 107%。百貨店事業の売上は、前期比は減少でありましたが利益について大幅に改善しています。不動産も前期に対して 2 億 8,400 万円改善しています。

### サポート

日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 営業利益の対前期比 増減分析【連結】



事業別の推移です。OEM は、ここまですっとプラスです。飲食は、売上は前年より上げたのですが、一部 M&A した FSC という飲食店グループがまだ赤字を引っ張っており、そちらに引きずられた形で、若干 300 万ですけれども、まだマイナスになっています。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 連結BS概要【連結】

		(百万円)			
		2024 / 期末	2025 / 期末	増減額	前期比
流動資産		22,094	22,325	+ 230	101%
固定資産		24,936	26,401	+ 1,465	106%
資産合計		47,030	48,726	+ 1,696	104%
現預金	A	12,172	11,303	- 869	93%
有利子負債	B	22,891	23,912	1,020	104%
Net Debt	(B - A)	10,718	12,609	1,890	118%

AFC-HD AMS Life Science Co., Ltd. 13

連結のBSです。2025年の期末として、流動資産が223億、固定資産が264億、資産の合計として487億、現預金が113億で、前期より8億6,900万マイナスになっております。この内訳は、新たに千葉の工場の土地があり、そちらに配送センター、プラスアルファ、製造の機材を入れるスペースを作る工場を約9億かけて造りました。

また、観光事業をこれから推し進めるため、ラビット急行という、浜松のバス会社をM&Aし、そこに増資として約4億。他にもベトナムの関係の貸付や、増資、それらを含めまして、全部合わせて、現預金は8億6,900万減っております。

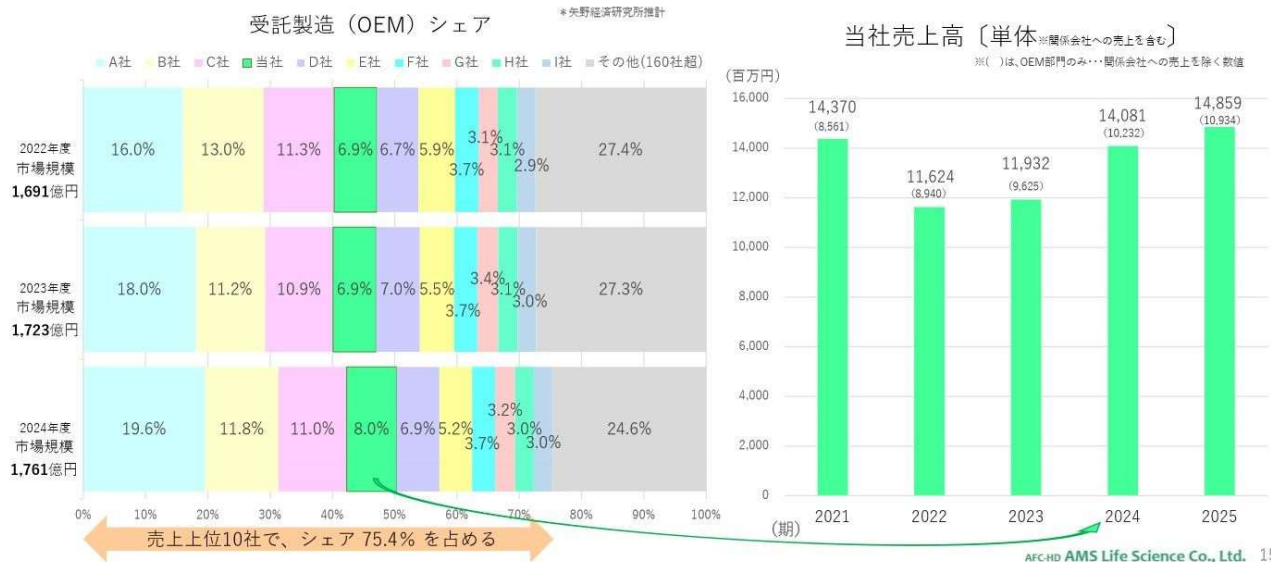
有利子負債、こちらは239億1,200万です。Net Debtとして126億ということで、18億9,000万、118%、若干借りのほうが多くなってきております。先行投資だと思っております。

## サポート

日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 【市場環境】健康食品：受託製造（OEM）市場規模とシェア

【出所：2025.10.07発刊、2025年版 健康食品の受託製造（OEM）市場 / 矢野経済研究所】を基に当社で作成  
\*矢野経済研究所推計



各事業の環境および今後の展開をご説明させていただきます。まず、主なアムスライフサイエンスの事業のOEM事業、お客様の商品を作らせていただく事業です。こちらはグラフにしましたが、横の棒グラフで、当社が4番、この緑のところです。当社もOEM、主管事業を伸ばさせていただいております。

紅麹の問題以降、厚労省や消費者庁の規制が今後も非常に厳しくなっていきますが、そんな中、大手5社のこういう受託会社がシェアを少しずつ増やしているような状況です。当社はもちろんその中に入っているということです。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com

## ヘルスケア事業 OEM部門



- ・メタボ対策、ロコモ、アイケア関連商材の受注が好調を維持した。
- ・ドラッグストア等の店舗販売業からの受注が好調に推移した。

### 【生産面】

千葉工場において、生産性を高めるため、倉庫兼出荷作業棟の建設を進行中。

2025年11月28日 竣工予定  
延床面積：3,100㎡



千葉工場（千葉県長生郡）  
倉庫兼出荷作業棟  
AFC建託

### 【業界団体】

2025年1月 一般社団法人 日本健康食品工業会（略称:日健工）設立  
（健康食品の受託(開発)製造企業を中心とした団体）

「連携による発展」をキーワードに、安心・安全の確立と消費者の信頼の抜本的な向上に努めていく



2025.3 設立記念祝賀会



2025.6 第1回社員総会



2025.8 記者説明会

AFC-HD AMS Life Science Co., Ltd. 16

こちらが投資9億ということで、今、海外の受注も増えておりますので、新たに生産設備として千葉に倉庫兼出荷作業の建設を進行して、来月末に竣工ができるかと思っております。これは新しく設備投資をするという話です。

先ほど消費者庁や厚労省のお名前を出させていただきましたが、業界として今までは点と点の会社関係でしたが、場合によっては今回のように全国的にお客様にご迷惑をおかけするようなお話もあり、受託企業としても今後は国にも事実を訴えていく、ある意味団体として国ともお話をする機会も設けていかなければならないと思います。

意見が業界の中でも一致したところを踏まえて、日本健康食品工業会を新たに今年設立いたしました。4社、アピさん、アリメントさん、東洋新薬さん、私ども、あとは三生医薬さんが最初音頭を取りまして、会を作っていったということです。先日も消費者庁の長官様と面談し、団体としての活動もさせていただいております。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## ヘルスケア事業 海外部門



・既存顧客における美容商材（NMN等）の受注が好調に推移した。

\* NMN…アンチエイジング商材



- ・受注増加により、工場の生産効率が上がり、収益性が上がった。
- ・海外販売は、国内販売に比べ売上総利益率が高い。

### 【生産面】

- ・2024年11月 千葉工場で製造する3品目について、ハラル製品保証実施機関より、ハラル認証を取得した。
- ・ハラル認証を取得した製品は、2025年5月より出荷を開始した。



イスラム圏での売上拡大を図る



ハラル認定証

AFC-HD AMS Life Science Co., Ltd. 17

同じくヘルスケア事業の海外です。特に NMN という商材が非常に好調でした。工場の生産性も上がり、収益率も上がっております。比較的、海外のお客様の商品につきましては、利益率が非常に高く取れるため、収益にも非常にいいように影響しているということです。

生産面としては、千葉の工場で海外のイスラム圏のお客様向けの商品であるハラル製品を、日本のハラルではなく現地のハラルを、商品ごとに認証を取得しております。今後、よりイスラム圏のお客様にも安心して使っていただける商材をどんどん製造して、販売に結びつけていくことで、こちらから海外に出ていくということの施策の一つです。

### サポート

日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## ヘルスケア事業 自社製品販売部門



・通信販売（電話受注・インターネット受注）は、機能性表示食品の販売に注力し、新商品投入や積極的な広告出稿により受注が増加した。

・インターネット受注における定期購入顧客数が順調に拡大した。

・店舗販売は、外商企画催事への出店や測定会の実施等が売上に貢献した。



2021年5月発売  
機能性表示食品  
めくみのルテイン30  
税込4,212円



2025年1月発売  
機能性表示食品  
あゆみの宝  
プロテオグリカン  
税込6,048円



AFC-HD AMS Life Science Co., Ltd. 18

ヘルスケア事業の自社製品部門です。こちらが前期比で98%となり、2%落としてしまいましたが、従来の通信販売はやはり苦戦しております。

当社がOEMで作らせていただいているお客様の中にも、通販を中心としている会社様は、やはり紅麹の影響を受けているというお話を聞いております。ただ、当社としては若干落としましたけれども、その中身は従来の通信販売からインターネットのほうに移行が進んできております。人材も増やしたこともありまして、徐々にですが回復してきております。足元はインターネットの受注が非常に拡大してきております。

店舗販売は、外商企画の催事、百貨店にテナントとして出ているところがあるのですが、そちらもこちらから積極的に、優良なお客様に営業をさせていただくということで、これも地味ですが確実に売上を確保しています。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com



## 医薬品事業 本草製薬(株)

### 本草製薬



・一般用医薬品の漢方薬のOEM受注が好調

大手医薬品メーカー、大手通販会社からの受注

投資した生産設備を活用

稼働率が上がったことにより、粗利率が向上

・ジェネリック医薬品の販売が好調

自社製造販売品 ビムロ顆粒（下剤）に加え、販売強化してきた生活習慣改善薬の販売が引き続き好調

・薬価の引き上げ

医療用漢方製剤の薬価が、2024年4月1日から1.5倍に上がった。  
これにより、月約1,000万円の売上、利益が上がっている。

安定的に黒字が出せる体制になった

一般用医薬品の漢方薬



八味地黄丸エキス錠 ヨクイニン錠 大柴胡湯エキス錠



ビムロ顆粒（下剤） シルденаフィル錠（ED治療薬）  
2017年11月発売 2014年9月発売



フィナステリド錠（AGA治療薬） タダラフィル錠（ED治療薬）  
2016年12月発売 2020年4月発売

AFCHD AMS Life Science Co., Ltd. 19

本草製薬で、こちらも順調です。順調の理由が、一般用医薬品の漢方薬、OTCといわれている漢方薬のOEMで、こちらが非常に好調です。医薬品の製造の認可を当社が持っており、自社工場で作っていることもありまして、他社の販売会社様からご依頼いただいた漢方薬を、一物多名称ということで、当社の権利でお客様にも作って差し上げることが非常に伸びており、売上に寄与しています。

ジェネリック医薬品も、自社製造のビムロ、これは下剤ですが、販売強化してきた生活習慣改善薬につきましては、引き続き好調です。また、医療用の漢方製剤の薬価が、ほとんど今まではなかったのですが、2024年の4月から1.5倍、国に薬価を上げていただきまして、これにより月約1,000万の売上利益が上がることで、本草製薬も順調に売上を伸ばしております。

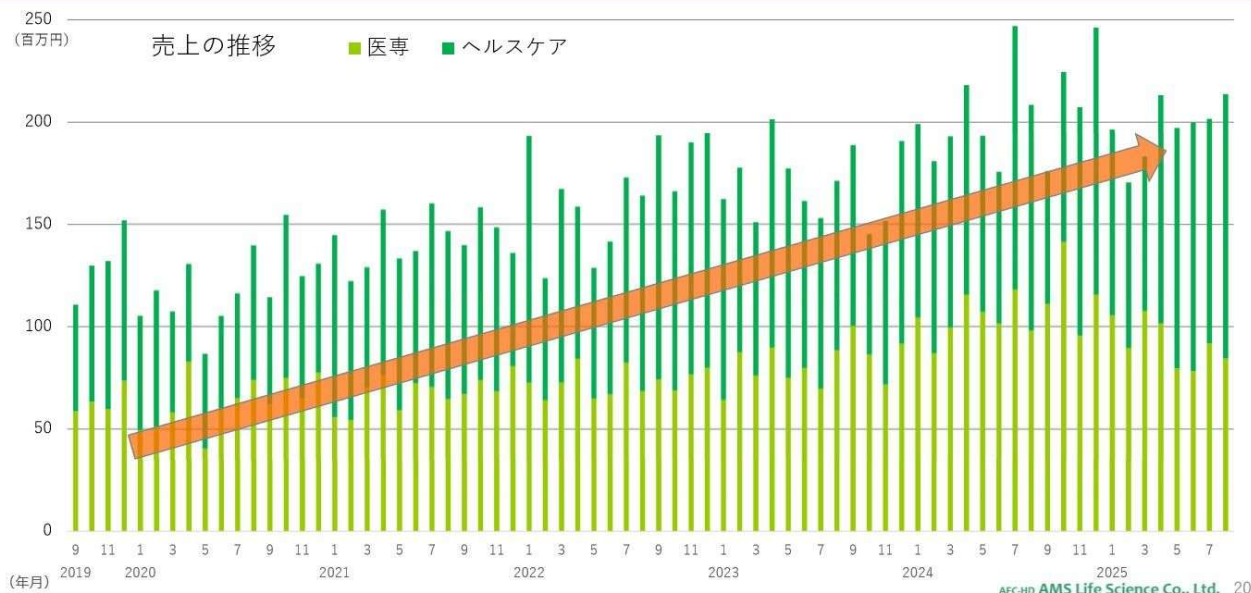
### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



医薬品事業 本草製薬(株)

本草製薬



こちらは、分かりやすく当社の医療用のお薬、病院で使っていただけるお薬と、それ以外のヘルスケア、一般用の医薬品の割合です。濃い緑のほうが、だんだん中身が増えてきているのがお分かりになるかと思います。この中に漢方薬のOEM事業も入っているということで、これからは医療用の漢方薬ももちろんですけども、OEM事業のほうも積極的に受けていこうということです。

サポート

日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 新工場建設予定

2023年8月 工場用地を取得

新工場概要	
工場名称	未定
建設予定地	静岡県静岡市駿河区恩田原・片山地区
敷地面積	6,000㎡
延床面積	7,500㎡
投資額	建物約30億円、機械設備約10億円
補助金申請額	約3.5億円（予定）
資金調達方法	銀行借入
生産能力	現状の約1.5倍
生産品目	一般用医薬品の漢方薬
竣工時期	2028年8月（予定）



新工場外観イメージ



建設予定地

AFC-HD AMS Life Science Co., Ltd. 21

本草製薬も歴史の長い会社で、名古屋に製造拠点が3カ所あるのですが、そちらも老朽化しております。新たに設備投資をしないと、このOEMの受注に追いつかないこともありまして、グループ会社本社の近くに、土地を購入いたしまして、ここに新しい本草製薬の本社工場兼事業所を、今計画に入れました。

こちらは敷地面積が6,000平米、延床面積が7,500平米で、投資額としては、今ちょっと上がっていて、建設会社といろいろと毎日やっているのですが、約30億、プラス設備10億、40億以上。ここは補助金も出るなので、こういうものを利用させていただきながら、基本的には銀行借入で現在能力の1.5倍を目指して、一般用医薬品の漢方薬を製造していこうと、2028年を目標としております。

こちらからは、同じ上場させていただいております百貨店のさいか屋の山野井に交代させていただきます。

**山野井**：よろしく申し上げます。ありがとうございます。代わりまして、さいか屋のご報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

# 百貨店事業 (株)さいか屋



テナント出店により、新たな顧客の獲得と共に、継続的なテナント賃料収入も増加した。

- 2024年 9月 パシオス (横須賀店)
- 2024年10月 ライフ (藤沢店)
- 2025年 5月 ポンパドウル (藤沢店)
- 2025年 7月 ローカスト (横須賀店)

2024年11月 藤沢店 8階レストラン街の一部区画を取得。

2025年 9月 横須賀店の地権者からの持ち分全部取得。年間4千万円超の賃料の削減。

2026年春ラウンドワンが本館5階、6階、屋上および南館の一部にオープン予定。空きフロアを賃貸する。



営業利益の増加を見込む



横須賀店 本館		藤沢店	
屋上	ROUND1 予定	屋上	テニスクール
6F	ROUND1 予定	8F	レストラン
5F	ROUND1 予定	7F	YAMADA
4F	Seria SAKAZEN	6F	YAMADA
3F	パシオス LOCUST OFF PRICE STORE	5F	YAMADA
2F	婦人服等	4F	YAMADA
1F	AFCショップ、買取中心等	3F	婦人服等
B1F	YORK FOODS	2F	婦人服、紳士服等
B2F	駐車場	1F	AFCショップ、買取中心等
B3F	駐車場	B1F	ライフ
横須賀店 南館		B2F	駐車場
	ROUND1 予定		

\* 2021.5 グループ化

まずは前期の結果をご報告させていただきます。売上高 46 億円、営業利益 1 億 1,400 万円、経常利益 1 億 3,500 万円、親会社に関する当期純利益が 1 億 1,000 万円となりました。

今期の予算を先にご報告をさせていただきます。今期に関しては、売上が年間 48 億円、営業利益に関しては 1 億 5,000 万円、経常利益 1 億 4,000 万円、当期純利益 1 億 2,000 万円という形で 9 月からスタートしております。

こちらの資料の中を見ていただくと分かるように、AFC がさいか屋を連結子会社にして、前期で 3 年が過ぎました。初年度から 3 年間、わずかではありますが何とか 3 年間黒字をしっかりと確保しています。数字に関しては落としている部分はありますが、本社からも黒字をとということで、AFC が入るまではさいか屋は大体年間で平均 3 億円ぐらいの赤字を 5 年間作っておりました。ここ 3 年間である程度グループの資金力、指導力について応援をいただきながら、結果は出せてきていると思っております。

今ここで見ていただいているように、百貨店、横須賀店、それから藤沢店という中で、テナント定借の部分が非常に増えています。大きな変革としては、3 年前に藤沢店に入っているお取引先が、条件の変更などいろいろあった中で、お客様の応援もいただきながら、そことは契約解除して、ヤ

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

マダ電機さんにお入りいただいて、一気に業績が改善できたという流れの中で3年間過ごせて、どうか黒字化が維持できてきたと思っています。

当初、非常に百貨店の中でこうやって定借のものが増えるということで、当然さいか屋も百貨店協会に入っておりますので、いろいろご意見などいただきました。結局、今は地方百貨店を含めて、さいか屋も含め、非常に厳しい状況で、さいか屋が一つのモデルケースになりながら、百貨店業界、地方百貨店も同じように自主運営から定借でやっているところが増えてきている中、そういう意味では、AFCグループになってから早い業態変更と、それから黒字化は達成できたのではないかと考えております。

その中で、お話ししたように、24年9月に横須賀店のパシオスさん、これは総合衣料メーカーです。24年10月にライフ、これはスーパーのライフさんです。それで25年には、横浜でやっているポンパドウルというパン屋さんが藤沢に入り、25年にはローカストという安いブランド品ということで、ここに入っております。

特にライフさんなどスーパーさんに、今、食品のデパ地下といわれているところに入っております。当初は、なかなかご出店いただくに当たって、厳しいのではないかとというお話もありましたが、現実には非常にライフさんも好調で、ライフさん自体も、地方百貨店とか、そういうところにこれからご出店されるのではないかとというぐらいに、さいか屋の藤沢店はうまくいっています。当然、入店客数も増えておりますので、店全体の入店客数も増えて、横須賀も藤沢も非常に快調な状況です。

横須賀も藤沢も、さいか屋は自分たちで百貨店としてやっていますが、両方とも地権者さんが結構いる中で、こちらのように、藤沢店は建物の8階を買って、70%、まだ30%の地権者さんがおります。横須賀店に関しては、15%を持っている地権者さんから、私どもが今期買わせていただきましたので、横須賀店に関しては100%私たちの持ち物という形で、しっかりこれからその分の経費が、年間4,000万ぐらい賃料がなくなっておりますので、その部分が業績に大きく貢献できるのではないかと考えております。

一番下に書いてあるように、2026年の春ということで、来年の3月を予定しております。これが総合的なゲームなどいろいろあるラウンドワンさん、ここに入店していただく予定です。今、さいか屋の部分の5階、6階と、屋上、ここの部分を私どもが現状復旧しながら、11月1日にラウンドワンさんにお渡しして、来年の3月中旬ぐらいになると思いますが、オープンする予定です。

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## すべての人々を笑顔に 横須賀に「ラウンドワン」(仮)2026年春オープン予定

株式会社さいか屋は、さいか屋横須賀店に関し、ボウリング、アミューズメント等の複合型施設を運営する株式会社ラウンドワンジャパンと2026年春オープンを目指し、新たに定期建物賃貸借契約を締結いたしました。

「ラウンドワン」(仮)がさいか屋横須賀店に出店することにより、横須賀中央駅周辺における地域の活性化とともに、既存のさいか屋横須賀店をご利用いただいているお客様にも、よりご満足いただけるものと考えております。



**早わかりラウンドワン** ラウンドワンは2025年8月現在 国内98店舗、アメリカ57店舗、中国3店舗にて、地域密着の屋内型複合レジャー施設を運営しています。現在、横須賀店オープンに対し、ボウリングやカラオケ、アミューズメント、バッティングセンター等を計画しています。 ※写真はイメージです。オープンの際、異なる場合もございます。



### 契約の概要

(1) 契約の相手方	株式会社ラウンドワンジャパン
(2) 賃貸物件の所在地	神奈川県横須賀市大滝町1-13
(3) 賃貸面積	6,651.4㎡ (全面積の約35%)
(4) 契約期間	2025年12月1日から2035年11月30日まで
(5) 契約締結日	2025年9月30日
(6) 契約の目的	ボウリング、アミューズメント等の複合型施設としての賃借
(7) オープン予定日	2026年春

ラウンドワンさんに横須賀店に入っていただくということで、これで横須賀、藤沢、今までは結構空きが、当初3年前は、大げさに言うと4割近くの空きがありました。このラウンドワンさんで、もうほとんど100%に近いぐらい全て埋まります。そういった中で、これからしっかり3年間、黒字化を維持し、3年間の中期経営計画に関してはしっかりと、自主店舗、特に自主運営したものを積極的にやりながら、従来の百貨店の部分を、スリーフロア、ツーフロアになりますけども、しっかりとやりながら、売上とともに収益を上げていければと思っています。

ラウンドワンさんに関して、まだラウンドワンさんから、具体的にどこに何を置くということはお報告を受けておりません。一応、IR的には、ご出店いただくということで、グループ、さいか屋、それからラウンドワンさんで今発表していますが、一応バッティングセンターやボウリング、総合的なアミューズメントの形をとりながら、新しいお客さんを横須賀にご来店いただければと思っています。

たまたま横須賀市の方たちとお話した時、当初15年ぐらい前に、ラウンドワンさんに市が来てほしいということで交渉をして、だいぶ土地の確保までしたらしいのですが、どうしても周りに学校があるなどそういうことがあって、その時は出店計画が中止になってしまったという事実があります。

## サポート

日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

今回、横須賀中央という京急の駅、JRの横須賀駅が近くにございまして、それとともに、横須賀市のほうも、ラウンドワンさんがさいか屋の中に入るといふことで、非常に応援をいただけるような体制にもなっておりますので、3月以降、しっかり業績を上げながら、収益をしっかり上げていければと思っております。

今期を何とか乗り越えながら、来期2027年、2028年で大きな黒字を出して、本社にも貢献できるよう、株主の皆様にも貢献できるように頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。私からは以上です。

**浅山**：ありがとうございます。補足いたしますと、当社がグループ化する前に、先ほど山野井が申したとおり、年間3億、5年間で15億の赤字を出した会社ですけれども、当社にグループ入りしてから、初年度から大幅に改善しまして、現状は黒字化できています。ただ、利益が非常に少ないとか、株価のこともありまして、目下、より黒字化を進めると同時に、将来は地方の開発に、横須賀市とか藤沢市とご協力させていただきながら、開発の中に入りながら、今後の展開を狙っていくことを考えております。

特に、横須賀も藤沢も、現場のスタッフが非常に頑張っておりまして、外商部もあるものですから、フロア面積が減っても外商部を中心に、優良なお客様に積極的に良いものをお届けするということにも力を入れていくということで、今後も利益をより改善していく予定です。

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 飲食事業 (株)なすび・FSC(株)



\* 2021.6 なすびグループ化、2023.10 FSCグループ化 ※ のれん代、61百万円を含む

・ 全体的に回復基調が継続した。中でも、主力分野である宴会・観光等の団体客、法事等の個室会食が増加した。

・ ケータリング事業も好調に推移した。  
会席膳、高級弁当等

・ 2月 新規出店 丼物・定食「食彩房 あさふじ厨's」

富士山静岡空港ターミナルビル2階  
出発ロビー前にあるフードコート



和牛ひつまぶし



唐揚げ親子丼

### 株なすび 17店舗

なすび総本店 (日本料理)	ブランオーシャン (洋食レストラン)
十千花前 静岡 (日本料理)	ぶどうの丘 草薙 (ビュッフェ)
十千花前 清水 (日本料理)	ロゼテラス (洋食レストラン)
久之介 (グリル)	ロダンテラス (洋食レストラン)
一富士丸 (寿司)	GALLEY (洋食レストラン)
無庵 (日本料理)	草薙 茄兵衛 (日本料理)
寛弥別荘 (日本料理)	天ぷらと手延べそうめんあきやま (天ぷら・そうめん)
なすび庵 (仕出し弁当)	一ふじ二たか (和食・寿司)
魚苧長久 (海鮮料理)	

### FSC(株) 7店舗

彩苑 (焼肉)
うなぎの佳川 本店 (うなぎ)
うなぎの佳川 浜松駅前店 (うなぎ)
燈乃maison 浜松有玉店 (ビュッフェ)
燈乃maison 豊橋店 (ビュッフェ)
燈乃maison 藤枝店 (ビュッフェ)
食彩房 あさふじ厨's (丼物・定食)

飲食事業ですが、静岡を中心にしている、なすびグループと、浜松を中心にしている FSC グループ、同じ静岡県の飲食店グループを二つ、当社グループに入りまして、両者とも売上はコロナで非常に苦労しておりました。コロナ後、なすびグループについては比較的早く改善していきましたが、FSC はちょっと借入等が大き過ぎたというか、それを背負いながら走っているのので、非常に苦戦していて、全体的には利益がまだ出にくいようです。

原材料費も上がって、飲食店事業は非常にどこも苦労しておりますが、お米の問題等いろいろな当社グループに入ったなすびは、グループ会社の後ろ立てを有意義に使って、今後はケータリング事業や、グループの中でも、飲食店事業の中でも、いい事業のほうにより積極的に投資しまして、今後展開していきたいと思っております。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

不動産・建託事業 (株)AFC建託・(株)AFCスマイル不動産・(株)AFCスマイルプラス



- ・中古住宅の需要増により、中古戸建て・中古マンションの買取り、販売が好調に推移した。
- ・アパート建設、注文住宅、リフォーム工事等の請負工事を受注した。
- ・財務体質改善のため、在庫物件の積極的な売却を進めた。
- ・今後は、建託事業に注力し、お客様の土地活用・アパート賃貸経営等を支援していく。



\* 2021.3 AFC不動産新設、2021.10 AFC建設新設、2023.10 クレアライズグループ化

不動産・建託事業です。始めて間もない、当社は自社で最初始めておりまして、ここを今後の展開にしていこうということです。先ほどFSCのお話をしましたが、その会社の親会社が、不動産事業を中心にした会社を買ったことによって、飲食事業も付いてきましたが、不動産事業も、中を開けたら非常に厳しい状況でした。非常に借入等が大きくて、中も大変ひどく、今それをここ2年ぐらいかけて立て直しております。

前期は何とか、売上も前期比140%と伸ばして、一番大事な利益のところは大幅な赤字から黒字に何とか改善ができました。今期以降、まだまだ売上のボリュームとしては大きくないですが、1億5,000万弱の年間で営業利益を目指して今頑張らせていただきます。具体的には、アパート経営を中心にやらせていただいております。

サポート

日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## その他事業



2025年6月 A F C観光(株)を新設  
 地元静岡の更なる発展に貢献すべく富士山静岡空港を拠点に、  
 観光事業に注力していく。



観光事業：AFCツアーズ  
 (静岡発着ツアーの企画立案、広告宣伝)



観光事業：ラビット急行 (貸切バス)



給食事業：5 SPRO Joint Stock Company  
 (ベトナム ハノイ)



教育事業：AFC国際学院  
 (日本語学校)

\* 2023.1 5SPROグループ化、2023.1 AFCツアーズ始動、2023.4 AFC国際学院、2024.7 ラビット急行グループ化、2025.6 AFC観光新設

その他事業ということで、当社は静岡空港を立て直そうと、ここも非常に赤字経営が続いています。現在の鈴木知事、牧之原の市長と、おかげさまでそういう方たちともご面識をいただく機会が増えました。静岡空港を活性化しながら、よりインバウンド、海外からのお客さんを静岡へと引っ張ってこようということで、観光事業を新設しています。

そのためにバス会社を M&A し、静岡でコロナのために売上が下がった有名な企業が、その手放した事業部の人たちを当社に取り込んで、新たに始めた事業です。こういうところも今後グループの中で基幹事業にしていくべく、目下、頑張っております。まだまだ赤字が進んでおりますが、これ

### サポート

日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

も確実に黒字化を目指して、今期以降、頑張っていきたいと思っております。

各施策の進捗

## その他事業（観光事業：海外ホテル）

・ホテル事業（ベトナム ダナン）＜運営：5 SPRO社＞

ホテル計画概要	
ホテル名称	未定
建設予定地	ベトナム ダナン ミーケビーチ
敷地面積	約500㎡（土地を確保済み）
建築面積	約420㎡
階数	地上9階建て
投資額	約7億円（土地使用权・建設費）
資金調達方法	銀行借入
客室数	48室
開業時期	2027年1月（予定）



◀ホテル外観イメージ



エントランスイメージ



建設予定地

AFC-HD AMS Life Science Co., Ltd. 27

観光については、ベトナムの現地で当社の5 SPROという関連会社があり、こちらの社長が観光業に精通しているということで、ベトナムのリゾート地のダナンに自前のホテルの計画が進んでおります。具体的な完成予想図のペースができてきており、ダナンの中心地にこういったホテルも経営していこうということで計画し、この後建設に入っていく予定で、今は現地の許可申請待ちだそうです。これが下りると建設に入ると聞いております。目標としては、27年の1月に開業予定です。

## サポート

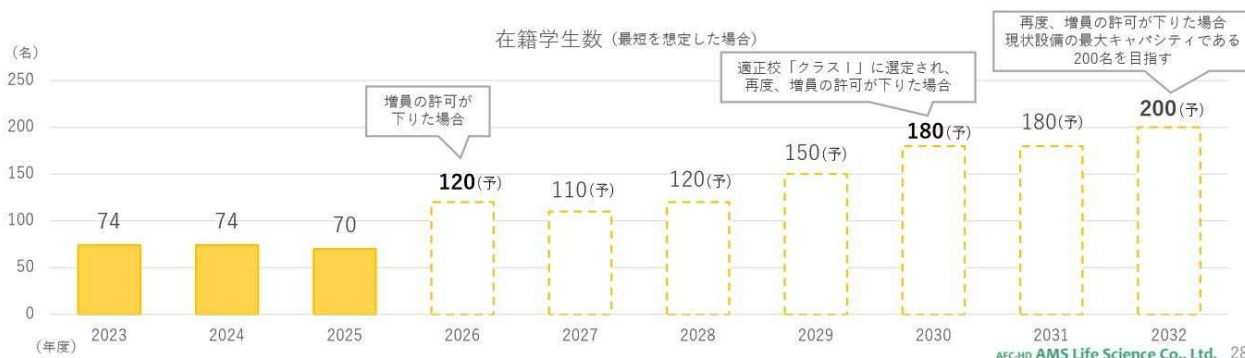
日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## その他事業 (AFC国際学院)

2018年 3月16日	校舎竣工
2022年11月 4日	認可を取得
2023年 4月 1日	開校 (在籍キャパシティ80名)
2025年10月15日	適正校「クラスII」に選定された。 ※
2025年10月下旬 (予定)	40名 (在籍キャパシティ120名/従来の1.5倍) の増員を申請する。
2026年 2月下旬 (最短の場合)	増員の許可が下りる予定。



※ 適正校とは、留学生の在籍管理が適正に行われていると認められる教育機関で、法務省 (各地方入国管理局) が通知した学校を指す。増員申請が可能になる等のメリットがある。



こちらは国際学院です。地方は人材不足が由々しき問題ですが、こちらの国際学院から卒業後に直接当社で働けるというわけではありませんが、上の大学・専門学校・短大に進学していただき、より日本語を学んでいただきながら、将来、その卒業生が当社グループで働いていただけるべく、教育させていただいております。

開校してからまだ2年で、最初は80名の定員、マックス200名までの学校として建設いたしました。当初は定員が80名から始まっておりましたが、増員の許可が10月にやっと適正校として選定されたことによって、今後1.5倍の増員を申請させていただきます。そうしますと、今度120名の生徒さんに勉強していただけることとなります。最終的には200名を目指して、段階を踏んで生徒を増やしていくということで、これは授業料等でもうけようという事業ではないですが、いい卒業生を将来的には当社グループにたくさん事業がありますので、そういうところで活躍していただきたいということを目指し、彼らに日本語を教育しているようなこともやらせていただいております。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

各施策の進捗

## 中長期の展望

既存主体事業であるヘルスケア事業や医薬品事業を中心に、新たな事業である観光・飲食事業、不動産・建託事業を加え、企業集団として更なる発展を目指す

地元静岡を起点とした国際化を図っていく。



よく中長期の計画を出さないのですかと投資家の皆様からご指摘をいただきます。一応現場としてはそろそろ中長期計画を出したいと思っているのですが、特に建託事業や観光事業が走りだしてまだ1~2年のグループ事業のため、こちらの先が見え始めた段階で、既存事業とプラスして、グループ会社としての将来の展望や数字も踏まえてなるべく早く作っていきたくて思っております。

海外はいろいろやっています。重慶、これは中国ですね。中国が当社は強いものですから、広州、上海、重慶、先ほどのベトナム、あとは静岡空港を中心に、この中にも、あさふじ厨'sという飲食店を出店させていただいたり、広告宣伝もさせていただいたりしております。今後は静岡県内の観光業を盛り上げるために、特に海外からのインバウンドのお客様を呼んでくるために、当社も頑張っていく所存です。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 業績予想サマリ【連結】

- ・百貨店事業の(株)さいか屋は、横須賀店の地権者からの持ち分全部取得により、年間4千万円超の賃料の削減、2026年3月にオープン予定のラウンドワンに空きフロアを賃貸することにより、営業利益の増加が見込まれる。
- ・飲食事業の(株)なすび・FSC(株)は、法人客及び観光客が回復傾向にあり、この需要が続くものと思われる。

(百万円)

	2021 実績	2022 実績	2023 実績	2024 実績	2025 実績	2026 業績予想	増減額 (2025年比)	前期比 (2025年比)
売上高	22,368	23,024	過去3番目 25,579	過去2番目 30,185	過去最高 32,655	34,137	+1,481	105%
営業利益 (営業利益率)	過去2番目 2,245 (10%)	1,015 (4%)	1,636 (6%)	過去3番目 1,916 (6%)	過去最高 2,409 (7%)	2,545 (7%)	+135 (7%)	106% -
経常利益 (経常利益率)	過去2番目 2,161 (10%)	1,343 (6%)	1,654 (6%)	過去3番目 1,921 (6%)	過去最高 2,443 (7%)	2,445 (7%)	+1 (7%)	100% -
親会社株主に帰属する 当期純利益 (親会社株主に帰属する 当期純利益率)	過去最高 1,495 (7%)	735 (3%)	1,102 (4%)	過去3番目 1,252 (4%)	過去2番目 1,448 (4%)	1,462 (4%)	+13 (4%)	101% -

AFC-HD AMS Life Science Co., Ltd. 31

今期の業績予想です。2026年の業績予想は、売上高341億、対前期比105%。営業利益25億4,500万、同じく106%。経常利益24億4,500万、こちらは100%。当期純利益14億6,200万、こちらは101%です。利益の伸びが少しというのは、新しい事業をどんどん始めていまして、まだ赤字の事業もあるものですから、控えめな数字にさせていただいております。

足元を見ても、ヘルスケアも、もう少し伸び悩むのではという現場の話を元に今期の予算を立てましたが、足元は非常に予算よりも先行しているような形で、まだ順調のため、最終的にはこれを上方修正するべく、目下、グループ全社合わせて頑張っているところです。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com

## 事業別売上高【連結】



これは参考までに、同じく事業別の売上高のグラフです。

### サポート

日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



## 株主還元 ～ 配当 + 株主優待 利回りについて～

2024年中間（5月発送分）より、株主優待内容を変更しました。



所有株式数 (株)	年間配当金 (円)	年間株主優待内容	年間株主優待金額	配当利回り (%)	優待利回り (%)	配当 + 株主優待利回り (%)
100～ 999	3,600	2,500円健康食品・化粧品 割引券 2 枚、 500円飲食割引券 10枚、5,000円旅行券 1 枚 × 2 回	30,000円分	4.1	33.9	38.0
1,000～ 1,999	36,000	5,000円健康食品・化粧品 引換券 1 枚、 2,500円健康食品・化粧品 割引券 2 枚、 500円食事券 10枚、5,000円旅行券 2 枚 × 2 回	50,000円分	4.1	5.7	9.7
2,000～ 2,999	72,000	5,000円健康食品・化粧品 引換券 2 枚、 2,500円健康食品・化粧品 割引券 2 枚、 500円食事券 10枚、5,000円旅行券 2 枚 × 2 回	60,000円分	4.1	3.4	7.5
3,000 以上	108,000	5,000円健康食品・化粧品 引換券 3 枚、 2,500円健康食品・化粧品 割引券 2 枚、 500円食事券 10枚、5,000円旅行券 2 枚 × 2 回	70,000円分	4.1	2.6	6.7

株数は、2025年10月24日終値884円にて算出。配当金は、2026年8月期過期予想36円にて算出。年間配当金・各利回りは、所有株式数ランク内の最小値にて算出。

楽しい株主優待 & 配当サイト  
8月の総合利回り（優待利回り + 配当利回り）ランキング  
<https://www.kabuyutai.com/rimawari/8rma.html>



さいか屋  
4位(51%)  
(2025.10.24現在)

当社  
5位(38%)  
(2025.10.24現在)

AFC-HD AMS Life Science Co., Ltd. 35

株主還元としましては、配当性向を 2025 年は 34 円ですが、2026 年は一応年間 36 円を予定させておいてまいります。

当社は優待もやっております、一般の株主様に非常に喜んでいただくべく、株主様のことも考えて、経営も引き続きさせていただきたいと思っております。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



## 第三者割当による第6回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行

概要	割当日	2025年7月31日	権利行使期間	2025年8月1日～2026年8月3日
	発行株式数	50万株	割当先	EVO FUND
	行使価額	3日毎に、4日前の終値に修正	行使済み株式数 (2025.10.28時点)	20万株
調達額	4億3,226万円 ※		※ 本新株予約権の払込金額の総額に本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額を合算した額から、本新株予約権の発行に係る諸費用の概算額を差し引いた金額です。本新株予約権が全て当初行使価額(877円)で行使されたと仮定した場合の金額であり、実際の調達金額は本新株予約権の行使時における市場環境により変化する可能性があります。	
資金使途	旅客バス3台の購入資金		1億6,800万円	
	観光ホテルの買収・取得資金		2億6,400万円	

また、当期は第三者割当による第6回新株予約権を発行させていただいております。発行株式は50万株でございます。資金調達額としては約4億。こちらを観光業、旅行用のバス、高級バスを3台、プラス先ほど紹介したようなホテル、これの買収、もしくは準備資金として流用させていただきたいと考えております。

この後に参考資料として付けさせていただいておりますので、もしよろしければご確認いただき、お分かりにならないところは、現場のほうにご質問いただければと思います。以上となります。本日はご清聴ありがとうございました。

**司会：**ご説明どうもありがとうございました。

### サポート

日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 質疑応答

---

**司会 [M]**：それでは、質疑応答の時間にまいります。ご質問のある方は挙手をお願いします。

**オノキ [Q]**：オーナーズのオノキと申します。本日はありがとうございます。

御社の M&A の取り組み方針についてお伺いできればと思っております。今後、例えば強化されたい、買収を検討されたい事業分野、あるいは対象企業として想定されているような規模感とか、投資金額とか、何かそのようなクライテリアみたいのがもしあればお伺いできればと思います。

**浅山 [A]**：今まで M&A は、正直言いまして、自分たちからこういう業界のこういう会社をぜひということで、そういう仲介会社様をお願いしたケースはほとんどなくて、成り行きというか、自然に経営している中でお話があった話を、当初は創業者の名誉会長と相談しながら、今まで一緒になってきました。

さいか屋も、実はうちのテナントとしてたまたま出ていて、もうからないので撤収しにしようと思ったら、向こうの当時の経営者と話し合っ、横浜銀行の皆さんが非常に中で苦労されているというお話を聞いて、銀行経営では無理だから、われわれがやりましょうということで、自然体ですね。

当社の自己資本額が 50% から 30% に下がっていますが、さいか屋が 80 億、横浜銀行に借りていて、それを当社が肩代わりしたということで、内容がそういう理由の 80 億ですから、ご心配ないかと思えます。でも今後は、今ご紹介した中にも、観光は人材が不足してしまして、もともと静岡にあった観光会社が撤収して、そこにいた割と高齢の方たちが、今 4~5 人でやっているのですが、今後のスタッフ、またホテルを作っても、そのスタッフ、そういうものが多分不足するかと思えますので、そういった分野の専門の方たちのノウハウ、会社があればということです。

われわれ静岡の浜松にあり、静岡は今度、自前でバスの基地を作るのですが、東方面がないのです。東方面のバスで困っていらっしゃる、困ってなくても、そういう会社様。もしくは横須賀、神奈川にさいか屋もあるものですから、東京に進出していく意味では、そういう会社様とかあればです。

日本語学校をやっていますが、日本語学校を卒業して 1 回専門学校等へみんな行きます。そこから、彼らは就職したい、日本で働きたいので、希望でうちへ帰ってきてもらいたいと言っていますが、そこまでの実績がまだ出ていないです。日本語学校の上の専門学校や、学校法人など、そうい

---

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

うところがあればつながるので、直接そこを卒業したら、強制じゃないですが、ぜひうちのグループに、飲食もあるし、観光もあるし、不動産もあるよと。もちろんヘルスケアの事業も、漢方薬も作っていますよというところで、海外で働いていただける日本人をいくら募集してもなかなか来ないので、そういった人々がもしあれば、ご紹介していただければ助かります。

**オノキ [M]**：ありがとうございます。

**司会 [M]**：ありがとうございました。他にご質問どうでしょうか。

**質問者 [Q]**：いつもご丁寧なご説明ありがとうございます。1点お伺いしたいです。いろいろ業容が広がって、底が上がってきているなど毎回拝見して思うのですが、人の面で、今スタッフとして働く人を採るのが大変になってきていると思いますし、そういう立て直しをするような人も大変になってきていると思いますが、人を採るとか、そういう御社に必要なスキルを習得してもらうというところで、どんな取り組みを現状していらっしゃるのか、今後されていくおつもりなのかをお聞きできればと思います。

**浅山 [A]**：人材の問題のご質問だと思いますが、先ほどご質問していただいた方も言っていっちゃったとおり、M&A は一つ、有用な手段だと思います。学校も、われわれの方針として、自分たちで一から始めないと、苦労や大変なところ、いいところ、悪いところが分からないので、まずは自分たちでやり始めるということを大事にしてきました。スピード感を持つという意味では、ご協力いただけるような会社様、一緒になって頑張っていこうという会社様と一緒にあったほうが、そこに人材がいらっしゃると思いますので、いいというのが一つ。

もう一つは、先ほど日本語学校の話をしましたけれど、自社で海外のスタッフを積極的に登用していく、この2本立てですかね。人材の確保ですね、実際にはまだまだ足りません。本草製薬は新しい工場を造るということで今募集していますが、静岡でなかなか募集が集まらないんですね。工場は建ったけど働き手がないのでは、やっぱり無理がありますので。一部はロボット化とか、そういったことも考えておりますけれども、どうしても最終的には人の手がかかるものですから、そういう人材を、自社のグループを利用すること、M&A も念頭に置きながら人材の確保に努めたいと思います。

**質問者 [Q]**：グループ間の中で人が余ったりするところとかも出てくるのかもしれませんが、人材を横に動かすみたいなものも今後はあり得るのでしょうか。

**浅山 [A]**：これはグループというか、会社の中に制度があります。今、新しく新卒で入ったスタッフの方とか、中途でも積極的に募集していますが、入社していただく方が、せっかく入っていた

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



いても、その部門でちょっと合わないとか、そういったケースもやっぱり出てきています。通常ですと、そのまま辞められて他社に行かれることもあるのですが、他社へ行かれるぐらいだったらグループで働いてみないかとか、そういうことは総務を通じてやっております。

実際、具体的に何人か、この間も営業で入ったのですが、やはりちょっと営業は厳しいという、これは新卒者でしたが。であれば工場のほうで頑張ってみないかと言ったら、ありがとうございますと、積極的に。それでは工場で頑張らせていただきます、というようなこともあるものですから、せっかく採った人材はなるべく外へ出さないというか、そういう取り組みはさせていただいております。

ただ、横で余っている人材というのは、実際正直言うとおりませんので、グループを見渡しても、どこも足りないですね。親会社が上場させていただいていることもあるのですが、結局、上場会社が受託の企業ですから、あまり積極的にこれまで広告宣伝してこなかったのです。それをよしとしていたのですが、グループも多角化してきて、AFCを中心に広めていこうということで、TV局に長年勤めていた方をヘッドハンティングして、広告宣伝を積極的にということで、費用も少し取りまして、全社費用で今期も少し利益のところ、全社費用で6,000万ぐらい。

それがほぼ、今日お越しいただいた時に映像が流れたかと思いますが、ああいったことを機会があるごとに流して、一つは、今までは物を売る広告ばかりだったんですが、グループとしての知名度を上げて。そうすれば株価も少し反応してくれるかもしれないし、親御さんが見て、リクルートという意味でも、この会社だったら安心そうだなということ、積極的に前にちょっと出てみようということで取り組んでおります。お答えになったか分からないですけど。

**質問者 [Q] :** できればもう1点。さいか屋さんにお伺いしてみたいんですが。社長の代になって、立て直しして3年たたれて、順調だなお見受けするのですが、社長ご自身も、さいか屋の中で次の展開という形で動いていかれるのか。それとも、グループの中でまた別の会社を立ち上げるみたいな形で、誰かに社長を譲って展開されるのか。さいか屋の再生がなった後の展開というのはどういう形で誰がやるんだというのを今お考えなのかをぜひお聞きしてみたいなと思います。

**山野井 [A] :** 今ご質問あった件、私も十数年前にモリヤ健康食品という会社におりまして、AFCにM&Aされて今に至っております。そういった中で、当然ご質問あったように、雄彦会長からもお話がありましたけども、私もAFCの中で、浅山名誉会長に14年間もまれまして、営業だけでずっと、百貨店の高島屋さんから、三越さん、伊勢丹さん、全部営業しながらやってきて、営業でやってきた部分が、今度は百貨店経営という部分に、AFCでもまれ、鍛えられてきましたので、非常に改革、改善としては、取引先としての百貨店の良いところも悪いところもよく分かっておりまし

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



たし、AFCのメーカーとして今までの培ったコストとか、指示系統を、しっかり私がいた会社とは違う内容で、4~5年の間に相当鍛えられました。

それを今、さいか屋のほうに、もちろん銀行さんの金利とか、静岡本社の応援をフルにいただきながら、今お話しさせていただいたような内容を、さいか屋の、今日、中野も管理本部長として来ております。今日は来ていませんけど、脇田という専務も含めて、私ともう1人、新規事業開発という、先ほど話したように、店舗、外商、新規事業、それから店舗というところで、1人だけ今AFCから転籍している者がいるんですけども、今さいか屋にいるプロパーの社員の方たちに、私がAFCで鍛えられた部分をしっかりと伝えながら、それが3年間で徐々に浸透して、今みたいな黒字が保てたと思っております。

今後に関しては、さいか屋で自主運営しながら、さいか屋は114年の歴史もございまして、上場もしておりますし、非常に今日も、りそなさんがいらっしゃっていますが、横須賀の再開発とか、いろんな部分が目白押しで来ておりますので、私がずっと頑張れるかどうかというのはともかくして、当然静岡本社とのやりとりが重要になってくるので、店舗運営に関しては、今日、中野、脇田、みんな新卒の学生の男子が相当、幹部がおりますので、百貨店運営に関してとか、再開発に関しては、今いるさいか屋の人間で十分こなせていけるだろうということは、雄彦会長ともお話をさせていただいています。

あとはプラス、静岡とのやりとりさえしっかりでき、グループシナジーがしっかり出ていければ、さいか屋としては、これから改善しなきゃいけない点もいろいろあるのですが、当面しっかり黒字化を図りながら、新しい再開発や、新規事業をしっかりやりながらやっていければ、さいか屋は160年、200年の歴史を積めるのではないかなと思っています。

人材に関しても、かなり規模が小さくなっておりますけども、まだプロパーの人間が相当おりますので、そういった形で、静岡から私の代わりが1人ぐらい来れば、十分にさいか屋としては、若手も育っていますし、当然静岡本社に私と同じように定期的に行って、各部署とのコミュニケーションも取れているので、そんなに将来的には大きな変革なく、今いる人員と静岡本社の応援をいただければ、今のまま黒字化、それから収益を上げられるんじゃないかなと私的には思っています。いかがですか。

**質問者 [Q]**：ご自身が当面は率いるということなんですか。

**山野井 [M]**：当面、何ですか。

**質問者 [Q]**：当面はご自身がトップでということなんですか。

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



**山野井 [A]**：代表取締役は私と名誉会長、浅山忠彦の2人になっていますので、当然私も代表権を持っていますけれども、名誉会長もおりますので。いろいろ静岡本社のやりとりや、静岡本社の資金力というのは非常に大事な部分があって、先ほどもお話ししたように、いろいろ銀行さんから金利を、家賃を払うよりは金利のほうがだいぶ安いもので、まだまださいか屋の信用が薄いもので、どうしても静岡本社の全面的なバックアップがあつての今の債権の状況なので。これは何度もお話ししますが、新規、再開発とかいろんな部分が横須賀も藤沢もございますので、こういった部分を最大限に活用しながら、先ほど会長からもあつたように、80億円の横浜銀行の借入もまだ残っておりますので、こういう部分をなくしていきたいと考えていますし、そういう方向性も十分いけるだろうと私は思っています。これは静岡本社とも共有しておりますので、大丈夫だろうと思っています。

私は、当然結果が出なければ、いろいろなこともあると思うので、何しろ全力でやりながら、静岡本社、それから株主の皆さんの応援をいただきながら頑張っていきたいと思っております。自分では何年というのは今決めておりませんが、年齢的にもそう長くはやれないと思いますので、何しろさいか屋と静岡本社の応援をいただきながら、後任を育てながら、グループに貢献できればと思っています。

**質問者 [M]**：ありがとうございます。

**司会 [M]**：ありがとうございました。それでは時間がまいりましたので、以上をもちまして本日の説明会は終了です。どうも皆さん、お疲れさまでした。

**浅山 [M]**：ありがとうございました。

**司会 [M]**：どうも会社の皆さんありがとうございました。

[了]

---

## 脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com